

ふれあいのまち



松原かわら版

世帯数 1,217 戸
人口 2,999 人
高齢化率(65歳以上) 27.8%
(令和 2 年 6 月 1 日現在)

みんなで街の中をきれいにしましょう

街がきれいになりました

松原中央公園のせせらぎはいつもきれいです。松原モールもきれいです。東公園は町内一斉清掃の時には、殆どやる事が無いほどきれいです。

これは地区内のさまざまな方々のボランティア活動のおかげです。個人で毎日のように清掃活動される方、毎週土曜日の朝7時から、せせらぎと松原モールを清掃するグループ、高所作業を含む樹木を伐採するグループ、中央公



松原モールの時計台を修理しています



時計台の周りの花壇に植栽をしています



中央公園の花壇の植栽をしています



中央公園のせせらぎを清掃しています

園全体を清掃するグループ、モールのからくり時計を修理しているグループ、他にも列挙しきれないほどの方々が、さまざまな形で美化活動を行ってくれています。

でも残念なことに、公園や道端には相変わらず飲み物や食べ物の入れ物の残骸、たばこの吸い殻などのゴミが毎日捨てられ放置されています。雑草も取るスピードより速く成長してしまっています。

松原地区には約3千人の方が住んでいます。ほんの少し



松原モールのベンチの塗装をし直しています

身の回りの美化活動にご協力いただければ、街はいままで以上に、もっともときいきいになると思います。みんなの力で、松原をピカピカに輝かせましょう！



第6町会の植松さん(写真の左側)への感謝状の授与式。多年にわたり地区内のボランティア清掃活動を行っていただいております。気負わないで作業するのが継続できる秘訣、と教えていただきました。

肉田の塩沢川 ホタル観察会

今回の観察会は、まず信州大学特任教授藤山先生よりホタルについてお話しをお聞きしました。

松本東地区は、まだ自然のホタルが残っているそうです。中でも内田の塩沢川は、自然のホタルが多く観察できる川です。こんな家の近くで観察できるなんて松原に30年以上住んでいます。が今まで全く知りませんでした。

塩沢川のホタルは6月7月にゲンジボタル、ヘイケボタルが観察できます。午後8時〜9時の間に一番ホタルが良く光るそうです。川のあち



また、今年はコロナで色々行事が中止になっていますので、家族でホタルを見て夏の思い出にしたいかがでしようか？

らこちらで光るホタルを見てみると、ホタルが住む自然をいつまでも守っていくことが大切だと思いました。

岩波書店さんから本の寄贈がありました

このほど、児童書から文庫まで多くの本を出版している

さん「シリーズなど、昔からなじみのある本を中心に計29冊の本をいただきました。

岩波書店さんから児童書の寄贈がありました。公民館の図書コーナーには今回寄贈された本だけではなく、児童書を中心とした多くの本があります。本の貸出はできませんが、平日の9時から17時まで自由にお読みいただくことができます。普段、公民館の利用がない方も気軽に



「おさるのジョージ」や「クマのプー」

初開催!

Zoomの使い方講座

新型コロナウイルス禍の新たな試みとして、6月16日と25日の2回に分けて「Zoomの使い方講座」が開催されました。

1回目は「Zoomを使うって講義を受けてみよう!」と題して、接続のテストをしつつ健康運動指導士の西山知花先生のお話を聞いてみました。初めての方は公民館に来て職員のお手伝いのもと接続をしていました。

2回目は少しステップアップして参加者がそれぞれの自宅から接続し、先生の指導のもと本格的なストレッチ講座を受けました。

ネット上のリモート集会という、なにかとてもハードルの高いもののように思われますが、今回のZoom講座では、予想よりも多くの皆さんが、ごく自然に、楽しそうに参加していらしたことが印象的でした。「3密」対策も確かで、こんなにも手軽で便利なツール、ぜひとも普通に使いこなしたいですね。いかにも年寄り然とした貧相が映るのだけが苦手です。

(編集委員)

みんなでやってみよう! Zoom体験

必要なもの

スマートフォン
タブレット端末
カメラ機能のついたパソコン
のいずれか

※カメラが付いていない場合は外付けのWebカメラを使うことでお手持ちのパソコンでも実施できます。

推奨される環境

データ通信量が大きくなるため、スマートフォン、タブレットの場合Wi-Fi環境で参加することをお勧めします。

あると便利なアイテム

スマートフォンやタブレットの場合、スタンドや三脚など安定して立てて置けるアイテムを使うと、より快適に参加できます。

*今回の講座の参加者にはご自宅にあるものを組み合わせさせてスマホスタンドを作った方もいらっしゃいました。他の方から招待を受けて参加する場合には会員登録をする必要もなく、簡単に試すことができます。今回の記事を読んで興味を持ち、試してみ

たくなった方はお気軽に公民館までお問い合わせください。



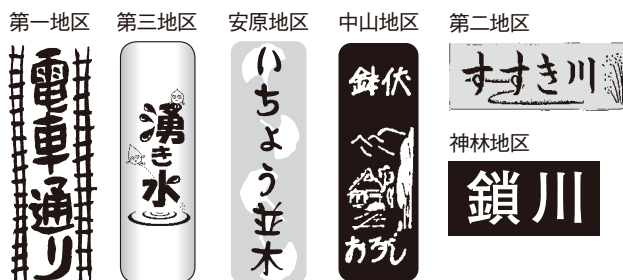
松原かわら版のコラムのタイトルを募集します!

松原かわら版で毎号掲載しているコラム「北の旅人」は、編集委員が日常の中で感じた何気ない話題を皆様にお届けしているコーナーです。この度、コラムのタイトルをより松原の特徴をとらえたものに変えてみようと考えています。

つきましては、松原地区住民の皆さんからタイトルのアイデアを募集します。皆様ふるってご応募ください!

○募集期間 8月3日(月)～8月31日(月)まで
○応募先 松原地区公民館(57-2322)

他地区ではこんなタイトルを使っています



コラム

今年の4月から職場が変わり徒歩通勤している。

通勤時、ご近所の庭先や道路沿いに植えられた美しい花々を見るのが楽しい。さぞ丹精して手入れをされているのだろう。新型コロナや頻発する地震等、心配事の多い日常に一片の癒しをいただいている。

反面、雑草が茂る空き地には、飲料缶やポリ袋等が捨てられ散乱している。捨てる側の『木を隠すなら森の中』の心理が働くのではないだろうか。中央公園や松原モールは町

内のボランティアの方々の美化活動のおかげで随分と気持ちの良い場所になっている。気温も高い中で精力的な活動に頭が下がる思いで感謝に堪えません。

自分自身を省みると、通勤時間や勤務時間が短くなり、朝夕に余裕ができたにも関わらず、「暑い」だの「虫に刺される」だの言い訳をして、我が家の狭い庭は雑草が生い茂ったままである。

「ずく」を出してせめて自宅回りは整えたい。缶やごみが投げ込まれないように。

(編集委員)